



広いLDKとお母様の部屋、水廻りを1つの空間にまとめ、ステップ上がった場所にNさんと2人の子どもの個室を配置。元の家の荷物の量を把握して、届かない場所に収納棚をしっかり確保したため、居住空間はすっきり。



スイッチはアメリカンスイッチで統一。レトロな雰囲気が和モダンの空間によく似合う。



上、古道具のような風情のある靴箱はオリジナル造作。扉は高齢のお母様でも開閉しやすい引き戸が中心。玄関とリビングの間の扉はガラスを1つつ選んでつくったオリジナル。/右、LDKフロアと個室フロアをつなぐ階段は天窓から採光で日中でも明るい。



段差のある土地に建つ平屋。奥の棟の屋根の下は広い小屋裏収納。思い出の品々が大切に収納されている。



に建てたのは50年ほど前。小さな家をリフォームしながら部屋数を増やし、家が広がっていきました。ですが、家の中に階段がいくつもあって高齢の母が移動しづらそうにして、古く、寒い家になってしまったんです。建築関係の仕事をしてきた父が建ててくれた家を壊すのはしびないけれど、自宅にいる時間が長い母のことを考えると、もっと快適に暮らせるようにしたいなと思うようになって。そろそろ家の形を変えても、亡くなった父もきっと許してくれるだろうと思いつき、建替えることにしました。住み慣れた木の家で、和モダンなテイストがよいと考え、雑誌やインターネットで検索、目に留まったのは「ハウズランド社」の建てた家だった。筑紫野市にある昭和初期の古民家を全面的にリノベーションしたモデルハウス「和の家」を見学。自宅と同じ無垢の木の浮造りの床や、重厚で落ち着いたのある和モダンなデザインを気に入ったNさんは、同社に建築を依頼することにした。

バリアフリーな和モダンの家に住み慣れた家を建替える

福岡市博多区在住 Nさんの住まい

## 段差のある土地に平屋を建てる バリアフリーならみんな安心

「母が暮らしやすいように」とバリアフリー化。温もりのある自然素材に包まれた空間は、家族が安心して暮らせる優しさにあふれています。